

---

2015年9月2日(水)発行

---

メルマガ～開示会計を学ぶ～ Vol.6

---

株式会社スリー・シー・コンサルティング

---

- 1 会計ニュースダイジェスト (2015年8月)
- 2 特集
- 3 ワンポイント開示会計問題演習 「連結損益計算書2」
- 4 児玉厚の開示川柳「 会計人 不正手口に 目をむけよ! 」
- 5 編集後記

---

1 会計ニュースダイジェスト (2015年8月)

---

1) ASBJに「IFRS 適用課題対応専門委員会」を設置へ (8月27日)

IFRSには数多くの解釈指針が存在しますが、  
これらの解釈指針に関する議論からIFRSの修正に発展することが  
最近増えています。

また、わが国においてIFRSの任意適用企業が増加する中で、  
IFRSの解釈指針として取り上げられるか否かが  
会計実務に少なからぬ影響を与えているとされています。

こうしたことからASBJは、IFRSの適用上の課題に対応する  
必要性を認識して、専門委員会を設置することになりました。  
専門委員会ではIFRS解釈指針委員会の議論のフォローのほか、  
場合によっては我が国が独自にガイダンスや教育文書を  
公表するかどうかの検討も行うとされています。

8月26日の第318回企業会計基準委員会にて同委員会の設置が提案され、  
了承されています。

今後速やかに設置の準備を行い、2015年9月又は10月に  
第1回会議を予定しています。

[https://www.asb.or.jp/asb/asb\\_j/minutes/20150826/20150826\\_index.shtml](https://www.asb.or.jp/asb/asb_j/minutes/20150826/20150826_index.shtml)

2) 会計士協会、「我が国の財務諸表の表示・開示に関する検討について」に  
寄せられた意見を公表 (8月21日)

去る4月16日に意見募集した「我が国の財務諸表の表示・開示に関する検討に

ついて」に対して寄せられた意見を公表しました。

本意見募集では、特に「注記情報」及び「財務諸表の表示」に関する会計基準の開発に関する優先的な検討事項について質問しており、具体的には以下の項目に対してさまざまな意見が集まっています。

(1) 注記情報について

- ・財務諸表利用者にとって有用性が高い情報の開示について
- ・開示の簡素化又は省略を可能とすることについて
- ・有用な注記をどのように考えるか

(2) 財務諸表の表示について

- ・基本財務諸表の表示に関する会計基準の開発について
- ・英文で開示される財務情報の一元化について
- ・特別損益の表示について
- ・完全な一組の財務諸表について

(3) その他

- ・国際比較に基づき財務諸表の表示・開示を検討すること
- ・現行の開示制度の一元化や見直しを検討すること
- ・非財務情報等の在り方を検討すること

[http://www.hp.jicpa.or.jp/specialized\\_field/post\\_1827.html](http://www.hp.jicpa.or.jp/specialized_field/post_1827.html)

3) IASB、新アジェンダ協議策定に着手 (8月11日)

(意見募集期限: 2015年12月31日)

現在、IASBは2011年から2012年に策定されたアジェンダ協議に基づいて日々活動を行っていますが、活動内容は大きく分けてリサーチプロジェクト、基準開発、(基準の)修正及び解釈のほか「概念フレームワーク」「開示に対する取組み」など多岐にわたっております。

今回の見解募集では、こうした活動にどう優先順位をつけるかを中心に、そもそもアジェンダ協議の間隔が適正か

(本来3年ごとに行うはずなのに遅れてしまっている)

も含めて意見を求めています。

新アジェンダ協議は2016年半ばから2020年までの期間で適用されることとされています。

<http://www.ifrs.org/Features/Pages/IASB-begins-agenda-consultation-2015.aspx>

4) IFRS「関連会社・共同支配企業」改正の適用延期を提案 (8月10日)

(意見募集期限：2015年10月9日)

IFRS「関連会社・共同支配企業」の改正は昨年9月に決定しており、2016年1月1日以後開始事業年度より適用することとされておりましたが、現在進行中の持分法に関するリサーチ・プロジェクトが完了するまで適用を延期するというものです。ただし早期適用は依然として可能とすることとされております。

<http://www.ifrs.org/Alerts/PressRelease/Pages/IASB-proposes-to-postpone-accounting-changes-for-associates-and-joint-ventures-until-completion-of-broader-review.aspx>

---

## 2 特集 定時株主総会の開催日

---

従来、株主総会はいわゆる「集中日」に多くの会社が開催しており、株主投資家の立場から開催日を分散すべきことが長らく言われてきました。では実際にどの程度分散されてきたのでしょうか。また会社は開催日程をどれだけ変えているのでしょうか。

Vol. 4 (2015年7月2日発行) で取り上げた決算発表日と同様に本年とカレンダーを同じくする2009年3月期との比較で同じ会社について期日の変動の有無を調べたものです。調査対象の会社もVol. 4と同じ(2,223社)です。

\* 続きはメルマガ読者にのみ公開しています。

---

## 3 ワンポイント開示会計問題演習

---

\* メルマガ読者にのみ公開しています。

---

## 5 児玉厚の開示川柳

---

\* 児玉厚(株式会社スリー・シー・コンサルティング 代表取締役)による「開示川柳」をお届けしております。

「 会計人 不正手口に 目をむけよ! 」

2008年に内部統制監査制度が導入されて7年になる。

導入前には内部統制監査に関する多くのセミナーや講習が開かれた。

当時、私も内部統制のリスクと統制について講義をした。

「・・・みなさんの会社で、もし悪意のある社員がいたと仮定した場合、例えば売上高について考えられる粉飾と不正の手口を洗い出して下さい。」

「次にどうしたらこれらの粉飾や不正を未然に防ぐことができるかという統制・対策を列挙してみてください。・・・」

ただ、このようなアプローチはとてもマイナーであったと記憶している。

東芝での内部統制と内部統制監査は全く機能していなかった。

会計人は謙虚に原点に立ち返り、粉飾や不正の手口を分析し、失敗から学ぶことが大切だろう。

\* 続きはメルマガ読者にのみ公開しています。

---

## 6 編集後記

---

\* メルマガ読者にのみ公開しています。

---

発行：株式会社スリー・シー・コンサルティング  
〒171-0033 東京都豊島区高田 3-14-29 KDX 高田馬場ビル 7 階  
URL : <http://www.3cc.co.jp/>

---

Copyright (c) Three C Consulting Co.,Ltd. All Rights Reserved.